

## リハビリテーション科に通院中又は通院歴のある方へ（臨床研究に関する情報）

関西医科大学および北摂総合病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は関西医科大学医学倫理審査委員会および北摂総合病院倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、研究機関の長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 橈骨遠位端骨折術後患者の日常生活困感に関する調査

《共同研究の代表機関名・研究代表者》 関西医科大学リハビリテーション学部 蓬萊谷耕士

《研究の目的》 治療中に行なった測定結果などの診療記録をもとに、橈骨遠位端骨折（手首の骨折）で手術を受けた方の日常生活動作の困難感を調査することを目的とします。本研究により安全で効果的なリハビリテーションにおける日常生活動作練習を構築することを目指します。

《研究期間》 研究機関の長の承認日～2028年3月31日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

橈骨遠位端骨折の患者さんで、2015年4月1日から2025年3月31日の間に北摂総合病院にてプレートによる手術治療とリハビリテーション治療を受けた方

●研究に用いる情報の種類

情報：臨床所見（診断名、年齢、性別、骨折分類：AO分類、合併症、受傷機転、外固定期間）  
レントゲン及びCT画像、手術関連（術式、プレートの種類、手術待機期間）  
疼痛評価の結果、握力、関節可動域、患者立脚型評価（質問紙）、関節感覚の検査結果  
日常生活に関連するインタビューの記録（COPM評価票）

《情報の利用又は提供を開始する予定日》 2025年6月1日

《外部への情報の提供》

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。個人情報をも復元できる情報は、本院の研究責任者が保管・管理します。

情報の提供を行う機関の名称：社会医療法人仙養会北摂総合病院

情報の管理について責任を有する者：関西医科大学リハビリテーション学部 蓬萊谷耕士

提供する情報の取得の方法：パスワードをかけた状態の電子ファイル

《研究組織》

[研究代表者] 関西医科大学リハビリテーション学部 蓬萊谷耕士

[本院研究責任者] 社会医療法人仙養会北摂総合病院 リハビリテーション科 田村裕子

[分担研究者] 社会医療法人仙養会北摂総合病院 リハビリテーション科 小栗山絵美

社会医療法人仙養会北摂総合病院 リハビリテーション科 遠近太郎 他

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個

人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での診療情報等の取扱い》

お預かりした診療情報等は、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は各研究機関の指針や規程等に基づき各研究機関の所定の委員会等に申請し、その審査と承認を得ています。

\*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

●研究代表者および研究内容の問い合わせ担当者

関西医科大学リハビリテーション学部

大阪府枚方市宇山東町18-89

電話 072-856-2362

研究代表者：関西医科大学リハビリテーション学部 助教 蓬萊谷耕士

●共同研究機関における研究責任者および研究内容の問い合わせ担当者

社会医療法人仙養会 北摂総合病院

大阪府高槻市北柳川町6-24

電話 072-696-2121 (代表)

研究責任者：北摂総合病院 リハビリテーション科 作業療法士 田村裕子